

四十一年度から実施

児童生徒の減少や校舎の老朽化から

十一月一日からはじまった修正試案の説明会は、二十四日に開かれた、十回目の茨曾根小中学校を最後に終了しました。

各会場で教育長は、「将来の児童、生徒の減少や校舎の老朽化などから早急に統合を実施する必要性がある。できれば四十二年度から実施したい」と統合の必要性を説明してまいりました。

一方出席した人たちは、学校という

身近かな問題だけに真剣に説明を聞き活発な意見質問を出してまいりました。

この時に出た質問を大別すると、①通学距離、②校舎の位置、③実施時期④その他というようになります。

そこで、その時に出た質問とそれに対する教育長の見解をつぎに紹介します。なお、同じ内容の質問については繰り返して載せませんからご了承ください。

校舎の位置

総合的に判断して決定

質問 地区民への呼びかけはどうか。

教育長 広報しるねを利用してたい。また機会をとらえてそのつど説明したい。

質問 統合は小学校と中学校のどちらを先にやるのか。

教育長 一般的には中学校が先だが緊急を要するところから実施したい。しかし実際は話し合いのついでところから

質問 小林、戸頭の統合校舎は新設するのか。現校舎のひとつを使用するのか。

教育長 別地に新設したい。

質問 小林、戸頭に白根を加え、同規模校をふたつにしては。

教育長 校区の調整に期待。越境入学者の措置は。

質問 地区感情を配慮して欲しい。

教育長 それと同時に白根市一体感の配慮も必要である。

質問 現在の校区を白紙にして、統合計画を作っては。

教育長 それが最も望ましい。そうならば申し分ない。

質問 将来の白根市発展を考へての立案か。

教育長 観念的には可能だが具体的には不可能だと思ふ。

質問 厳正にやりたい。

教育長 通学についての対策はス、電車などの通学を考へてゐる。しかし、一定距離以上から通学費を補助したい。やむを得ない場合はスクールバスを考へたい。

質問 地区感情を配慮して欲しい。

教育長 それと同時に白根市一体感の配慮も必要である。

質問 現在の校区を白紙にして、統合計画を作っては。

教育長 それが最も望ましい。そうならば申し分ない。

質問 将来の白根市発展を考へての立案か。

教育長 観念的には可能だが具体的には不可能だと思ふ。

質問 鰐淵分校統合の時期はいつから。

教育長 四十二年四月一日を期して手続きを進めたい。

質問 中学校の統合校舎は白根より作って欲しい。

教育長 話し合いにより、白根市一体感、交通事情(バス電車)道路計画などを総合判断して決定したい。

質問 実施は急がず慎重に。教育長 統合実施は緊急を要する状況にある。

質問 町内会長 対象の説明会も開いて欲しい。

教育長 実情に即して実施したい。

質問 通学距離が遠くなると児童は過労に陥らないか。

教育長 小学生四キロ以内、中学生六キロ以内の徒歩通学なら普通の児童生徒には心配はない。

質問 各地区の説明会に出た質問などをまとめて公表を。

教育長 広報に掲載したい。

質問 中学校を二校にすると

通学の過労

小4キロ 中6キロ以内はない

将来、生徒ひとり当りの校地面積が大きくなりすぎぬか。

教育長 中学校統合校舎の校地面積はいずれも三万三千平方メートル程度を確保したい。

質問 戸石と、白井の統合校舎は、どの校舎を使用するのか。

教育長 いまのところ白井小の使用を考へている。

質問 学力、体位の向上、道徳性の高揚などは統合により達成できるか。現在戸石小では大成果を上げており、統合の必要性を感じない。

教育長 そのための統合だから大いに期待できる。適正規模になればより成果が上がる。

質問 父兄負担が増えないか。

教育長 一部の父兄には通学費が増える。

質問 統合は文部省なり県の指導があるのか。

教育長 国、県の指導もある。

教育長 わたしもそう思う。

質問 中学校は二校案より三校案が良いと思うがどうか。

教育長 少なくとも一校十二学級以上を目差したい。そのためには二校にするしかない。

質問 中学校を二校にしては規模が大きくなり、

統合完了

七年から十年後

質問 統合実施の所要年数は。

教育長 七年から十年程度にしたい。

質問 廃校予定の校舎の増築や、補修はどうするのか。

教育長 統合完了まで相当の年数を要するので放置できない学校もある。

質問 地区と十分話し合いの上実施して欲しい。

教育長 結論が出るまで話し

本腰を入れて推進

質問 統合実施はいつからか。

教育長 四十二年度から実施したい。

質問 戸石を白根に統合してはどうか。

教育長 規模が大きくなる。行が増えないか。

教育長 大きすぎるとその心配はある。しかし二十四学

すぎ、及ばざるにしかずとなる。

質問 中学校の二校を同程度にしては。

教育長 統合校舎の位置によって校区調整の必要がでてくる。校区調整に期待したい。

質問 統合は教育費軽減のためか教育効果を上げるためか。

教育長 後者である。

質問 広域行政の立場からの配慮は。

教育長 本市の状況は緊急を要する。広域行政の立場から統合を進められる気運の熟するのを待っておれない。しかし、実施の段階で考慮したい。

質問 委託児童生徒の措置は教育長 いままでどおり行きたい。ただし復帰を希望するものは歓迎する。

級程度なら教職員の充実と生徒の自覚でその心配はなくなる。

質問 市教委はこれまで弱腰ではなかったか。

教育長 これから本腰を入れてゆきたい。

質問 統合しないでその経費を現在の学校に配分しては。

教育長 教育予算の配分は学校数が多いと総花的となつて薄くなり、学校数が少ないと重点的となつて厚くなる可能性がある。

質問 統合校舎の位置によって校区調整の必要がでてくる。校区調整に期待したい。

質問 統合は教育費軽減のためか教育効果を上げるためか。

教育長 後者である。

質問 広域行政の立場からの配慮は。

教育長 本市の状況は緊急を要する。広域行政の立場から統合を進められる気運の熟するのを待っておれない。しかし、実施の段階で考慮したい。

質問 委託児童生徒の措置は教育長 いままでどおり行きたい。ただし復帰を希望するものは歓迎する。

級程度なら教職員の充実と生徒の自覚でその心配はなくなる。

質問 市教委はこれまで弱腰ではなかったか。

教育長 これから本腰を入れてゆきたい。

質問 統合しないでその経費を現在の学校に配分しては。

教育長 教育予算の配分は学校数が多いと総花的となつて薄くなり、学校数が少ないと重点的となつて厚くなる可能性がある。

級程度なら教職員の充実と生徒の自覚でその心配はなくなる。

質問 市教委はこれまで弱腰ではなかったか。

教育長 これから本腰を入れてゆきたい。

質問 統合しないでその経費を現在の学校に配分しては。

教育長 教育予算の配分は学校数が多いと総花的となつて薄くなり、学校数が少ないと重点的となつて厚くなる可能性がある。

級程度なら教職員の充実と生徒の自覚でその心配はなくなる。

質問 市教委はこれまで弱腰ではなかったか。

教育長 これから本腰を入れてゆきたい。

質問 統合しないでその経費を現在の学校に配分しては。

教育長 教育予算の配分は学校数が多いと総花的となつて薄くなり、学校数が少ないと重点的となつて厚くなる可能性がある。

級程度なら教職員の充実と生徒の自覚でその心配はなくなる。

質問 市教委はこれまで弱腰ではなかったか。

教育長 これから本腰を入れてゆきたい。

質問 統合しないでその経費を現在の学校に配分しては。

教育長 教育予算の配分は学校数が多いと総花的となつて薄くなり、学校数が少ないと重点的となつて厚くなる可能性がある。